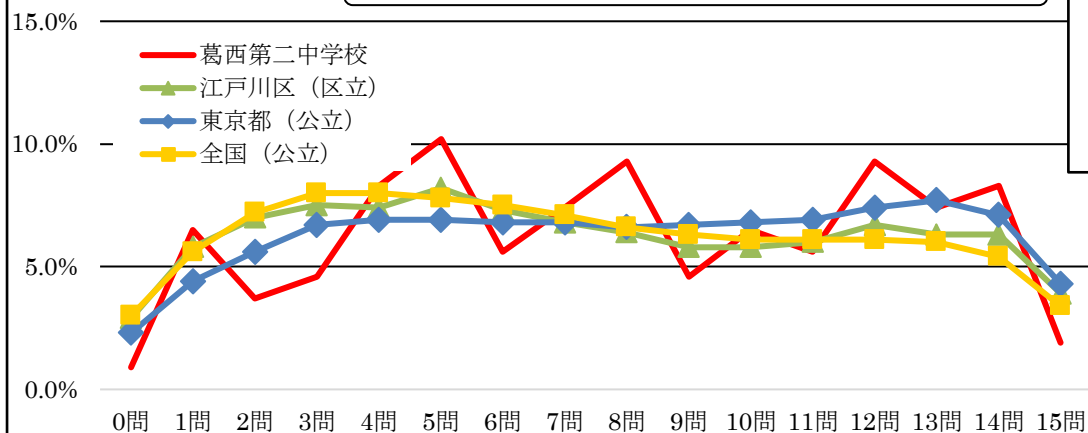


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】 葛西第二中学校

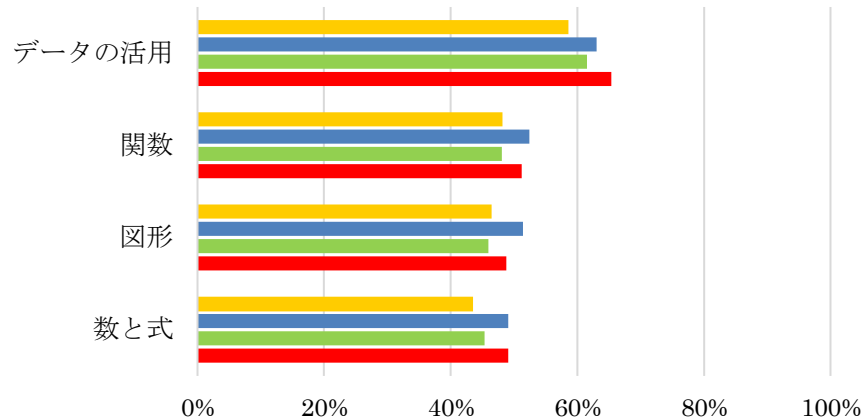
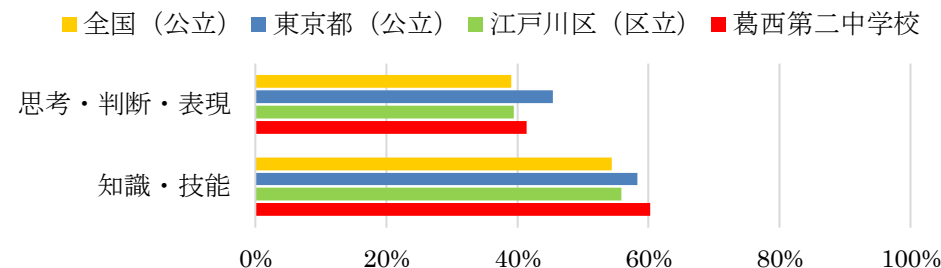
正 答 数 分 布

平均正答数

葛西第二中学校：7.9問 江戸川区（区立）：7.4問
東京都（公立）：8問 全国（公立）：7.2問



「領域別」の結果



＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

上位 ← → 下位

数 学	A層	B層	C層	D層
	12～15問	8～11問	4～7問	0～3問
葛西第二中学校	26.9%	26.0%	23.2%	24.0%
江戸川区（区立）	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都（公立）	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国（公立）	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

【平均正答率の差】

葛西第二中学校	53%
江戸川区（区立）	49%
東京都（公立）	53%
全国（公立）	48.3%
都との差	0ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

A・B層の割合が区の平均を上回っている一方でD層の割合が都の平均を上回っている。知識・技能の定着は見られるが、思考・判断・表現の正答率は全国と同様に低い。

習熟度別少人数指導では、D層の生徒にもC層の生徒に合わせた授業を行うことで学習内容の定着を図りたい。5分間テストで既習事項の定着を図りたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。